

診断薬原料 県外へ供給

骨粗しょう症用キットの抗原

リムコ、提携先の日東紡に



骨粗しょう症診断キットの原料供給を発表したリムコの小河代表（左）と日東紡の戸田専務（右）

遭伝子組み換えカイコの糸から診断薬用の抗体や抗原を製造

する県内のバイオベンチャー、リムコ（うるま市）の小河晋悟代表は3日、資本提携した日東紡（福島県）の戸田数久専務と県庁で会見した。リムコが、日東紡の子会社ニットーホームメディアが製造、販売する骨粗しょう症診断用キットの原料となる抗原を供給することを明らかにした。認可薬の原料の県外への供給は県内初という。

は今後、新たな診断薬の共同開発や県内研究機関との共同研究でも提携していく方針だ。ガラス繊維製造大手で、医薬品事業も手掛ける日東紡は診断用医薬品事業の拡充に力を入れており、戸田専務は「遭伝子組み換えカイコから取れる抗体や抗原は不純物が少なく品質が高い。この点でリムコの技術力を評価した」と提携の意義を説明。リムコの小河代表は「遭伝子組み換えカイコの技術により、マウスを使わずとも効率的に抗体や抗原を抽出できる。『蚕業イノベーション』を進めていきたい」と語った。